

こども通信

あつという間にもう三月。卒業や
卒業、受験など忙しい月ですね。

雪もずいぶんとききました。降り
始めは、煩わしい物もみんな真っ白
に覆い隠してくれるのに、今時の雪

は「現実」をまた見せつ
けられるようで、あまり
好きではありません。
ちょうど政治の世界のよ
うに・・

避けてばかりはいられ
ません。さあ、幕と「ミ
入れをもつて出かけ、街
をすつきりとさせましょ
う。(国会もそうなるこ
いいですね!)

新潟県の乳幼児医療費助成が、
やっと拡大されることになりました
(二面参照)。九月から、外来は二
歳児まで対象になります。といつて



も、全国を見渡すと、やっと「並
になっただけです」が・・

とりあえずは市町村の上乗せに
よつて、全国的にも「上」に入るこ
とを期待したいところです。

この制度は
全国の全ての
市町村にある
一方で、制度
としてはまち
まちです。住
むところに
よつて、子育
て支援の内容
が大きく異な
ります。これ

からは、国の政策としてきちんと整
えるべきでしょう。
医療費助成以外にも、安心して子
育てに取り組めるような「子育て支
援」はいろいろと必要です。病気に

なつたときの保育
をどうするかも、
大きな問題。県内
には現在三カ所の
「病児(病後児)
保育施設」があり
ます(うち二カ所は上越市)。
早急な整備が望まれます。
私自身、小児科医として
何かお手伝いできないもの
かと常々考えています。開
院して十年余が過ぎ、そ
る病児保育にも関わつて
いくべきとの思いもありま
す。そのため構想を練り
始めたところですので、ご
意見などお聞かせいただけ
れば幸いです。

塚田こども医院
 上越市栄町 2-2-25
 TEL(0255)44-7777
 FAX(0255)44-8456
 時間外090-3333-4388
 E-mail tsukada @
 kodomo-iin.com
 ホームページ http://www.
 kodomo-iin.com/

事故予防のヒント
 乳幼児の歩行中の事故は、
 自宅から100メートル以内
 が4割。家のまわりに危険
 な場所がないかチェックし、
 お子さんに教えて下さい。

今月のポリオ予防接種(任
意)は十七日(土)です。
 この「通信」を「ご家庭で」
 覧になりたい方には、FAX
 でお送りします(無料、毎月
 も可)。「ご希望の方は医院ま
 でご連絡下さい。

今月の予定
 上越市の予防接種(麻疹、風疹、三混、日脳)
 火、金 午後1:30~2:30
 月、火、木、金 午後4:30~5:00
 乳幼児健診、任意の予防接種
 毎週木曜 午後1:30~2:30
 院長出務
 聖母保育園新入園児健診 7日
 上越市乳幼児健診 14、28日
 上越保健所未熟児健診 13日
 有線放送「健康ライフ」17日朝6時-
 「春の病気/花粉症など」
 FM-J「あつまれ元気っ子」(当院提供)
 毎週水曜午後4:35~(76.1MHz)
 7日高田幼稚園、14、21日ひがし幼稚
 園、28日高士保育園

感染症情報
 先月(2月)の末になって、市内の中学で学年閉鎖もおきるなど、インフルエンザの流行がはじまりました。今年は真冬に患者発生がほとんどなく、異例の年です。このあと本格的に流行が始まるのか、気になるところです。
 嘔吐下痢症(ウイルス性胃腸炎)は、年齢を問わず引き続きはやっています。溶連菌感染症は小学生を中心に、水ぼうそう(水痘)、おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)は保育園・幼稚園の子どもたちを中心にそれぞれ発生しています。
 子どもの感染症は、こういった集団の中で流行しがちです。どんな病気が多く発生しているかという情報をえることは、とても大切です。
 当院では、毎週の感染症情報をお伝えしています。とくにi-Mode携帯を使った方法は、医療雑誌などでも紹介され、注目されています。ご希望の方は、メールなどでお知らせ下さい。
 当院から [感染症情報] を毎週お伝えしています。(0255)44-7722(無料)
 FM-J(エフエム上越76.1MHz)-金曜13:30~ 上越有線放送=月曜18時~

新潟県で乳幼児医療費拡充へ

9月より新潟県の乳幼児医療費助成制度が拡充され、対象年齢が外来はゼロ歳から2歳までに、入院は3歳までから4歳までに広がることになりました。

今の日本では子どもを産み、育てることは大変。社会全体で「子育て」を支援し、その環境を整備することは、少子化に歯止めをかけるためにも重要な課題です。中でも医療費負担の軽減は、大きな意味を持っています。子育てを担っているのは20～30代の収入の少ない世代で、お金の心配をせずに病医院を受診できることは、何よりの子育て支援策といえます。

本県の水準は「全国最低ランク」であり、「子どもに優しいくない県政」などと酷評されてきましたが、これで他の県並みになります。といっても、現時点で30県が2歳までを対象とし、3歳以上も補助しているのは8県あります(外来)。本県では1歳以上は所得制限があり、利用できない人がいますが、27県がこの制限を設けていません。さらに、22の県では自己負担はなく、完全無料化されています(本県では、外来は530円を月4回まで)。

東京都は今の4歳までを未就学児に拡大する(10月実施、自己負担なし)など、さらに充実させる動きも各地で活発です。

本県は大きな一歩を踏み出しました。それでもまだ「普通の水準」。すでにいくつかの市町村が上乘せを検討していると聞き、心強く思っていますが、一層の充実に取り組んでいただきたいと願っています。

花粉症の予防は 早めに始めて下さい

春になると花粉症が心配。スギはその代表で、新潟では三月中旬から始まり、五月上旬まで続きます。今年は例年の二倍ほどの量といわれています。

目と鼻の症状

ひとたび花粉に対するアレルギーができる、花粉が目や鼻の粘膜に「過敏で過剰な反応」がおきてしまいます。目の症状は、涙目、かゆみ、充血な

ど。鼻の症状は、水鼻、くしゃみ、鼻づまりなどです。さらにひどくなると、微熱、だるさなども伴います。

花粉に触れない工夫

アレルギーの元になる花粉がつかなければ全く症状がありませんし、少なくとも症状が軽くなります。

外出時は、暖かい日中などの飛散量の多い時間を避ける、マスク・メガネなどをする、帰ったら衣服を払ってから家に入る、すぐにつがい・洗眼・シャワーなどをしてください。

家の中では、お布団や洗濯物を外には

干さない、毎日こまめに掃除をする、空気清浄機を使う、他の家族に協力してもらつ、なども必要です。

治療

アレルギーを抑えるお薬はいろいろと開発されています。飲み薬の他に、目薬、点鼻液もあります。それぞれ、症状の程度などを考えながら、最適な物を選んでいきます。(眠気の出る薬が多いので、注意して下さい。)

そして
症状が出
る前から
始め、長
めに使う
のがコツ
です。
さあ、
今春の花
粉症を上手に乗り切ってください。



I ネット 医療相談や情報の交換

育児に追われ、ストレスを募らせながら家に閉じこもりがちになる親が多い。そんな親たちにとって、気軽にできるインターネットは心強い味方だ。居ながらにして育児情報を得たり、仲間を探したり。

新潟市信濃町の主婦Sさん(二八)は一月八日夜、五月月になる長男Hちゃんを寝かしつけた後、パソコンのキーをたたき、電子メールを送信した。「息子が寝ているとき、おなかを突きたし反りかえるのですが、小児まひでしょうか」。思い過ごしとは思いながらもHちゃんの寝姿を見るたびに心配になっていた。

電子メールのあて先は上越市栄町の塚田こども医院(塚田次郎院長)。インターネットで同医院のホームページを見つけ、初めて相談することにした。

返信はすぐに来た。「発達の途中でのけぞったり、力んだりすることはよくあります。心配ありません」。

画面に現れたその文字を見て、Sさんは安心した。「どんな先生か知らないけど、頼りになりそう」。その後何度か相談のメールを送った。「近くに医院はあるけど、簡単なことをわざわざ医師に面と向かって相談しにくい」からだ。

そんなSさんを夫の会社員Jさん(三〇)は、「話を聞いてもらうだけでも、気が休まるんじゃないかな」と見守る。パソコンに向かうたびに、Sさんから子育てのストレスが薄れていくようだ。

塚田こども医院のホームページには一日三十～五十件のアクセスがある。子供の病気や夜泣き、離乳食などの育児相談や、ホームページを見た感想なども続々と寄せられる。

「そのうち半数は顔も知らない人から」と打ち明ける塚田院長は、「育児書やインターネットに情報はあふれているが、それにとらわれすぎてストレスがたまる親が増えている」と返信を欠かさない。